



令和2年度～令和7年度 脱炭素経営支援プラットフォーム成果

1. 会議概要
2. 0円太陽光事業の効果
3. ビジネスマッチングの効果
4. 成果のとりまとめ

2026.3

事務局

運営事務局

新潟市 環境部 環境政策課

一般社団法人 環境省エネ推進研究所

1. 会議概要 R2年度:新潟地域脱炭素推進パートナーシップ会議 (1/2)

第1回会議 都市部モデル

開催：令和2年10月30日（30名参加）

講演：「**かながわスマートエネルギー計画の推進**」講師：神奈川県エネルギー課 武川課長

◇再エネ導入加速化のための施策

- ・事業者との連携事業
ソーラーバンクシステム、**太陽光発電共同購入事業**、**0円ソーラー**など
- ・補助金事業
自家消費型太陽光、V2Hシステムなど
- ・普及啓発事業
広報、かなエネサポーターなど



第2回会議 都市部モデル

開催：令和2年11月16日（41名参加）

講演：「**小田原市EVを活用した地域エネルギーマネジメントモデル**」

講師：㈱REXEV代表取締役社長 渡部様

◇小田原市におけるEVカーシェアリング「eemo」の紹介

- ・EVの価値を最大限に引き出す（停車中の価値=電力の価値）
- ・地域新電力とのセット割サービス、非常用電源としての車両活用など

◇今後の事業展開について

- ・EVによる地域エネルギーマネジメント（PV連系、マイクログリッド運営、VPP調整力）など

講演：「**新潟にしかん地域循環共生圏協議会の取組について**」

講師：一般社団法人おらってにいがた市民エネルギー協議会 事務局長 木村様

◇新潟市西蒲区の**EVカーシェアリング**について



第3回会議 農村部モデル

開催：令和2年12月15日（36名参加）

講演：「**失敗しないソーラーシェアリングのために**」講師：千葉エコ・エネルギー㈱代表取締役 馬上様

◇事業と課題

- ・**ソーラーシェアリング**
農業を続けられる事業スキーム作りなど

◇トラブル要因

- ・農作業スペース確保、日射量シミュレーションの実施と作物
選定、雨だれ・台風への対応など

◇地域で活用できる電源への進化

- ・EVモビリティとの組み合わせによる**農村の低炭素化**、農業の
電化、非常時の電源供給など



1. 会議概要 R2年度:新潟地域脱炭素推進パートナーシップ会議 (2/2)

部会1：環境エネルギーアライアンスの構築部会

開催:令和2年11月16日(26名参加)
環境エネルギーアライアンスの構築を目標として活動
講演:「新潟スワンエナジーの取り組みについて」
講師:新潟スワンエナジー株式会社 取締役 岩本 様



部会2：脱炭素経営を目指す企業の応援

開催:令和2年11月25日(20名参加)
講演:「再エネ100宣言RE Action」
講師:再エネ100宣言RE Action 事務局 金子 様
脱炭素経営を目指す企業の応援をテーマに活動



新潟市環境優良事業者等認定制度



見学会

開催:令和2年11月24日(13名参加)
場所:栄電子工業株式会社 新潟テクノロジーセンター
講師:栄電子工業株式会社 常務取締役 井崎 様



1. 会議概要 R3年度:新潟地域脱炭素推進パートナーシップ会議 (1/2)

第1回会議 地中熱勉強会

開催：令和3年7月15日（58名参加）

講演：「**地中熱のススメ**」

講師：新潟県地中熱利用研究会 技術委員 石田様

◇地中熱ヒートポンプの利用状況

- ・県内における導入事例の紹介
- ・地中熱ヒートパイプによる融雪の利用状況の紹介

講演：「**地熱（温泉）発電を活かしたローカルSDGsへの挑戦**」

講師：松之山温泉合同会社「まんま」代表 柳様

◇松之山温泉における温泉熱利用

- ・温泉熱利用による消雪パイプ
- ・**バイナリー地熱発電**の取組



第2回会議 水素勉強会

開催：令和3年11月25日（81名参加）

講演：「**SPERA 水素の実用化と水素社会への貢献**」

講師：千代田化工建設(株) 水素事業部部長代行兼事業開発セクション SL池田 様

◇事業化の課題

- ・グローバルな**水素サプライチェーン**の構築、国内の供給体制（水素ハブ拠点、貯蔵施設の構築）

講演：「**豪州から新潟への水素サプライチェーン構想**」

講師：ウィーナ・エナジー・ジャパン(株) 部長 Warren 様

◇水素サプライチェーン

- ・豪州の再エネ電源で電気分解した水素をSPERA水素 MCHという形で既存インフラを活用した水素サプライチェーンを構築し新潟港に運搬する構想について紹介

講演：「**三菱ガス化学(株)新潟工場のカーボンニュートラルに関する取り組み**」

講師：三菱ガス化学(株) 基礎化学品事業部門化成品事業部メタノール技術グループ メタノールパイロットチームチームリーダー ヨー 様

◇環境循環型メタノール構想

- ・工場で発生するCO2や廃プラスチック・バイオマスを原料としてメタノールを製造
- ・水素ステーション、燃料電池フォークリフトの運用

講演：「**富谷市における既存物流網と純水素燃料電池を活用した低炭素水素サプライチェーン実証**」

講師：(株)日立製作所 水・環境ビジネスユニット 環境事業部スマートユーティリティ本部カーボンニュートラル推進室 主任技師渡邊 様

◇水素吸蔵合金を配送トラックで配送・回収

- ・太陽光発電の電力を用いて水を電気分解し水素を生成し、**水素を保存したカセット**を需要家の元へ輸送し、発電や給湯に活用

講演：「**企業から排出されるごみを水素に 廃棄物発電による脱炭素の可能性**」

講師：青木環境事業(株) 社長室長 松木 様

◇水素の利用方法

- ・廃棄物の焼却熱を利用した発電の**余剰電力を利用して水素を製造**
- ・水素ステーション、燃料電池フォークリフトの運用

1. 会議概要 R3年度:新潟地域脱炭素推進パートナーシップ会議 (2/2)

にいがたBIZ EXPOへ出展

開催：令和3年10月14日～15日

- ・脱炭素経営省エネ実践セミナー共催
- ・補助金資料の配布、案内



部会1：環境エネルギーアライアンスの構築部会

開催：令和3年12月9日（14名参加）

講演：「環境エネルギーアライアンスの構築について」

講師：一般社団法人 環境省エネ推進研究所 理事 品田

意見交換：ESG金融を活用した再エネ導入スキームについて

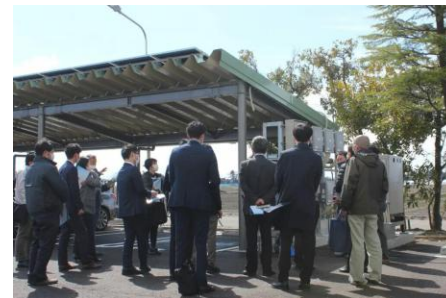
講師：株式会社 アール・エ北陸 代表取締役 高澤 様



見学会

開催:令和4年3月28日（15名参加）

場所：明和工業株式会社（新潟市西蒲区）



1. 会議概要 R4年度:新潟地域脱炭素推進パートナーシップ会議 (1/2)

第1回会議 カーボンニュートラル勉強会

開催:令和4年6月22日(87名参加)

講演:「**カーボンニュートラルに向けた国の動向と施策について**」

講師:環境省関東地方環境事務所 地域脱炭素創生室 楠本 様

◇カーボンニュートラルの国際的な動向と2050年カーボンニュートラルに向けた国内の動き

- ・温暖化対策の推進に関する法律の改正と地方公共団体実行計画
- ・地域脱炭素移行・再エネ推進、**脱炭素先行地域**の取組について

講演:「**Made in 新潟のバイオマスボイラーで環境型産業創出を目指して**」

講師:アーク日本株式会社 代表取締役 岩城 様

◇新潟県で製造している**薪ボイラー**の導入事例紹介

- ・機器の構造と燃焼の仕組み
- ・装置の試験結果と実績、成果

講演:「**J R貨物 ～今脚光を浴びる脱炭素の切り札～**」

講師:日本貨物鉄道株式会社 松尾 様 井上 様

◇貨物列車の脱炭素化に向けた**ハイブリッド車両導入**の取り組み紹介

- ・物流の現状(トラックドライバー不足)
- ・**貸し切り輸送、共同輸送**といった取り組み例
- ・鉄道とトラック輸送を組み合わせた物流改革によるCO2削減量試算
- ・軽油から**バイオ燃料**への燃料転換



第2回会議 ZEB勉強会

開催:令和5年1月31日(44名参加)

講演:「**ZEB 拡大への挑戦**」

講師:株式会社イーエムエス 上席統括研究員 藤石 様

◇ZEB概要説明

- ・**ZEBの要件**の達成に必要な取組について紹介。
- ・外皮断熱、窓、遮蔽・遮熱(パッシブ技術)
- ・照明器具、制御システム、空調、換気、給湯(アクティブ技術)
- ・太陽光発電設備(再エネ技術)
- 各技術を組み合わせ省エネで50%、創エネで50%、総じてゼロを目指す。

講演:「**NDK新潟ビルにおけるZEB事例**」

講師:日本電設工業株式会社 営業統括部 環境エネルギー本部
副本部長 西田 様

◇Nearly ZEB を取得したNDK新潟ビルで用いた省エネ・創エネ技術の紹介

講演:「**第四北越フィナンシャルグループの脱炭素への取り組み～新築店舗における ZEB 認証取得～**」

講師:株式会社 第四北越銀行総務部 エキスパート 和泉 様、本間組 古澤 様

◇ZEB化取組店舗の紹介

- ・関屋支店 **新潟県内初の『ZEB』取得**、白根支店
- ・Nearly ZEB取得、加茂支店 Nearly ZEB取得、米百俵プレイス西館 ZEB Oriented取得

講演:「**県内におけるカーボンニュートラルガスの導入事例について**」

講師:北陸ガス株式会社 営業部 イノベーション推進室 奥山 様

◇**カーボンニュートラルガス**の概要

- ・カーボンニュートラルガスの導入効果
- ・採用事例紹介:第四北越銀行関屋支店、加茂支店
三条信用金庫 新潟支店、(株)サイカワ

にいがたBIZ EXPOへ出展

開催:令和4年10月13日～14日

- ・各種省エネ補助金のご案内と相談対応



1. 会議概要 R4年度:新潟地域脱炭素推進パートナーシップ会議 (2/2)

部会3：次世代自動車の普及 第1回

開催:令和4年7月28日(37名参加)

座談会:いまだに聞けないEV・PHVの基礎知識

講師:株式会社 パルコミュニケーションズ 代表取締役社長 五十嵐 様
日産プリンス新潟販売株式会社 営業支援部 販売促進担当係長
EV スーパーバイザー 真柄 様

現地視察:三井ホーム V2H と EV の活用



部会3：次世代自動車の普及 第2回

開催:令和4年10月5日(38名参加)

座談会:いまだに聞けないEV・PHVの基礎知識(充電設備編)

講師:株式会社 パルコミュニケーションズ 代表取締役社長 五十嵐 様
ユビ電株式会社 共同創業者 & COO 白石 様
日産プリンス新潟販売株式会社 営業支援部 販売促進担当係長 EV
スーパーバイザー 真柄 様

現地視察:EV 充電設備の使用法について

- ①「Tesla super charger」充電設備の見学
- ② QR コード決済システムの見学



1. 会議概要 R5年度:新潟地域脱炭素推進パートナーシップ会議 (1/2)

第1回会議 E V 導入への取組み

開催：令和5年7月4日（75名参加）
講演：「新潟空港リムジンバス「E Vバス」の運行」
講師：新潟交通株式会社 企画調整課 課長 阿部 様
◇E Vバスの運用、小型燃料電池(FC)バスの実証運行について
講演：「太陽光発電（オンサイトPPA）について」
講師：新潟スワンエナジー株式会社 営業部長 佐々木 様
◇太陽光発電（オンサイトPPA）の実施効果について
講演：「EV充電サービスについて」
講師：E N E C H A N G E 株式会社EV充電サービス事業部事業開発 船橋 様
◇E Vインフラの普及状況、EV充電サービスの利用運用についての紹介
電気自動車見学会開催 BYD ATTO3



第2回会議 脱炭素経営に向けた取組み

開催：令和6年1月25日（50名参加）
講演：「環境省の令和5年度補正予算および令和6年度概算要求について」
講師：環境省 関東地方環境事務所 地域脱炭素創生室 再エネ促進区域推進専門官 石原 様
講演：「経済産業省の令和5年度補正予算および令和6年度概算要求について」
講師：経済産業省 関東経済産業局 資源エネルギー環境部 カーボンニュートラル推進課
カーボンニュートラル振興係長 渋谷 様
講演：「新潟県 環境局 環境政策課の取組みについて」
講師：新潟県 環境局 環境政策課 カーボンゼロ推進室 カーボンゼロ戦略担当 政策企画員 田中 様
◇今年度の事業成果報告、次年度の脱炭素に向けた取組みについて報告
講演：「新潟市 経済部 企業誘致課の取組みについて」
講師：新潟市 経済部 企業誘致課 主事佐久間 様 主事川上 様
◇今年度の事業成果報告、次年度の脱炭素に向けた取組みについて報告
講演：トークセッション「脱炭素社会に向けた取組みや支援策について」～脱炭素経営や脱炭素ビジネスのヒントに～
登壇者：新潟県 環境局 環境政策課 田中 様、新潟市 環境部 環境政策課 宮川主幹、菊池主査、樋口主査
ファシリテーター：（一社）環境省エネ推進研究所 GX推進アドバイザー 品田
◇新潟市環境政策課から太陽光発電の普及、Z E H・Z E B の普及、3 次世代自動車等の普及の報告
・県、新潟市、燕市の取組み状況
・民間企業からの現場の声
・新潟における脱炭素推進の現状と課題について情報を共有



1. 会議概要 R5年度:新潟地域脱炭素推進パートナーシップ会議 (2/2)

部会1： カーボンニュートラルゲーム

開催：令和5年9月1日（30名参加）

開催内容：カードゲーム「2050カーボンニュートラル」をワークショップ形式で開催

講師：メインファシリテーター

一般社団法人 ぐんまカーボンニュートラル推進会 石川 様

講師：サブファシリテーター

一般社団法人 ぐんまカーボンニュートラル推進会 土屋 様

◇P S会議メンバーと自治体職員との官民交流からカーボンニュートラル社会の実現に向けた意見交換会を企画

・政府や自動車メーカー、金融機関、環境NPO、電力会社など12組織に分かれ、**カーボンニュートラル達成の為に、何を考えどう行動するのかを学び、気づきを得る**機会となる。



部会2： 勉強会「環境価値」

開催：令和5年11月22日（29名参加）

講演：「出荷後の製品にも求められる物流のカーボンニュートラル」

講師：ツバメロジス株式会社 代表取締役 山田 様

◇**カーボンクレジットを活用**することで、**カーボンニュートラル輸送**を実現し、**同時に地球環境保護活への貢献**について紹介

講演：「購入電力におけるカーボン・オフセットについて」

講師：株式会社グローバルエンジニアリング営業本部 営業部 東京営業グループ 小島 様

◇**環境価値**について説明を行う

・**証明する非化石証書の種類、取引、取扱い**について紹介

講演：「新潟県カーボン・オフセット制度について」

講師：新潟県 環境局 環境政策課 カーボンゼロ推進室 主査 高橋 様

◇新潟県による**カーボンオフセットの運用**について解説し、**新潟県版J-クレジット制度**の紹介
・**プロジェクト**の紹介、**クレジットの販売状況**および**利用**の取り組みについて紹介

講演：「カーボン・オフセットの活用事例について」

講師：株式会社第一印刷所 企画開発本部 情報工房DOC企画課 伏見 様

◇**カーボンオフセットの活用事例**について紹介

・社内における具体的な作業内容を説明



1. 会議概要 R6年度:新潟地域脱炭素推進パートナーシップ会議 (1/2)

部会2 Jクレジット勉強会

開催:令和6年9月11日(36名参加)

講演:「Jクレジット(環境価値)は新潟のGXを加速させるのか」

講師:三井住友海上火災保険株式会社 新潟支店課長 村井様

株式会社バイウィル 代表取締役 下村様

◇Jクレジットの動向について Jクレジットをきっかけに行動変化を促す

- ・カーボンニュートラルの背景と国内外の動向
- ・新潟市内の現況および施策

講演:「脱炭素推進協会の取組について」

講師:株式会社長谷川電気工業所 代表取締役社長 長谷川 様

◇脱炭素推進協会のご案内

- ・株式会社長谷川電気工業所の脱炭素への取組と事業内容について
- ・脱炭素推進協会による中小企業のCO2削減量をJクレジット化する取組

講演:「新潟市Jクレジット普及促進協議会の取組について」

講師:新潟市農林水産部 農業活性化研究センター 所長補佐 小出様

◇水耕栽培における中干機関の延長の取組について

- ・Jクレジット制度における中干期間の定義・算定方法
- ・Jクレジットの創出・活用に向けた推進体制・モニター事業実施
- ・今後の取組予定について



部会1 エネルギーアライアンス構築部会 意見交換

開催:令和6年12月3日(11名参加)

テーマ:①「0円ソーラー」事業の各社の取組状況と課題について

②市域の再エネ導入の課題について

③「環境エネルギーアライアンスプロジェクト」について

◇新潟市ゼロカーボン戦略の説明

◇再エネ導入等に向けた新潟市の現状と課題の説明

◇各テーマについて意見交換

参加者:11名(事務局含む)

株式会社テクノガイソーレ

新潟スワンエナジー株式会社

越後天然ガス株式会社

新潟市環境部環境政策課 ゼロカーボンシティ推進室

一般社団法人環境省エネ推進研究所



1. 会議概要 R6年度:新潟地域脱炭素推進パートナーシップ会議 (2/2)

全体会 脱炭素経営支援プラットフォーム活動報告および環境省・経済産業省令和7年度概算要求について

開催：令和7年1月22日（42参加）

講演：「脱炭素経営支援プラットフォームの活動報告等について」

講師：一般社団法人環境省エネ推進研究所 山崎

講演：「環境省の脱炭素に向けた令和6年度補正予算および令和7年度概算要求について」

講師：環境省 関東地方環境事務所 地域脱炭素創生室 環境専門員 廣瀬 様

講演：「エネルギー基本計画」

「GX2040ビジョン」

「GXリーグ・排出量取引制度」

「経済産業省の令和6年度補正予算および令和7年度概算要求について」

講師：経済産業省 関東経済産業局 資源エネルギー環境部 カーボンニュートラル推進課 調査官 岡本 様

講演：トークセッション「脱炭素社会に向けた取り組みや支援策について」

登壇者：環境省 関東地方環境事務所 地域脱炭素創生室 環境専門員 廣瀬 様

経済産業省 関東経済産業局 資源エネルギー環境部 カーボンニュートラル推進課 調査官 岡本 様

新潟県 環境局 環境政策課 児玉 様

新潟市 環境部 環境政策課 小出 様

ファシリテーター：(一社)環境省エネ推進研究所 高橋

・新潟県環境局 環境政策課より脱炭素社会に向けた取組や支援策について

・新潟市 環境政策課より新潟市の現状と令和7年度の支援策および新潟市温暖化対策実行計画策定について

・新潟における脱炭素推進の現状と課題について情報を共有



1. 会議概要 R7年度:新潟地域脱炭素推進パートナーシップ会議 (1/2)

全体会① GX意見交換会

開催:令和7年10月17日(36名参加)

発表:「現在行っている事業の内容、現状と課題について」

発表者:パナソニック株式会社エレクトリックワークス社 遠藤 孝夫 様

◇太陽光発電設備と蓄電池の導入など災害時に使える製品の紹介と
実際の導入事例

発表者:環境省 関東地方環境事務所 鈴木 友也 様

◇官民連携強化のため地域脱炭素フォーラムを実施。各自治体の人員不足、
財源不足、再エネ導入に関わる地域でのトラブル、再エネの出力抑制が
課題

発表:「省エネ診断・補助金事務局業務の現状について」

発表者:一般社団法人 環境省エネ推進研究所 山崎 徹 様

◇省エネ診断と新潟県の価格高騰対応設備導入補助金事業を通じて見えた
事業者のニーズとヒアリング内容について

発表:「新潟市より市の支援策の状況について」

発表者:新潟市環境部環境政策課 小出 亮介 様

◆意見交換会トークテーマ

A:企業の脱炭素化、省エネ・再エネを進めていくためには

B:GX企業や脱炭素に関する新事業を生み出していくためには



全体会② GX意見交換会

開催:令和7年2月13日(36名参加)

発表:「環境省の脱炭素に向けた令和7年度補正予算
令和8年度当初予算案」

発表者:環境省 関東地方環境事務所 地域脱炭素創生室 鈴木 友也 様

◇ペロブスカイト太陽電池やグリーンステールなど、新たな技術を踏まえて
地域の金融機関や中核企業、都道府県を巻き込んだ脱炭素への取組
◇令和8年度予算案事業でも脱炭素に向け継続的に支援

発表:「令和7年度補正予算・令和8年度概算要求におけるGX関連施策について」

発表者:経済産業省 関東経済産業局 資源エネルギー環境部

カーボンニュートラル推進課 永嶋 淳 様

◇省エネ・非化石転換設備更新に継続支援。

◇GX関連施策としては専門家による省エネ診断の活用促進支援を行う

発表:「事業者の脱炭素経営への転換支援の取組について」

発表者:新潟県環境局 環境政策課 カーボンゼロ推進課 秋山 幸俊 様

◇温室効果ガスを2030年度に46%削減目標。脱炭素社会の実現に向け
取組加速

発表:「新潟市脱炭素施策の紹介」

発表者:新潟市環境部環境政策課 ゼロカーボンシティ推進課

小出 亮介 様

◇2050年度温室効果ガス実質ゼロへ向け体制を整える

◇ペロブスカイト太陽電池の社会実装に向け積極的に取組

◆意見交換会トークテーマ

○市内事業者の関心、意欲の底上げを図っていくには

○ペロブスカイト太陽電池の活用(1/21シンポジウムを受けて)



1. 会議概要 令和7年度:新潟地域脱炭素推進パートナーシップ会議 (2/2)

シンポジウム 発電する街にいがた

ー資源も、電気も地産地消へ。ペロブスカイト太陽電池と新潟産ヨウ素が描く未来ー

開催：令和8年1月21日（200名参加）

【第一部】

ペロブスカイトの現在地と未来

講演：「ペロブスカイト太陽電池が拓く未来
～技術開発と用途展開の現状と展望～」
講師：東京大学先端科学技術研究センター 教授 瀬川 浩司 様

企業報告：「新潟の資源が、未来を創る」（素材）
報告者：三菱ガス化学株式会社
エネルギー資源・環境事業部 事業部長 高橋 昭浩 様

企業報告：「技術を、カタチにする」（デバイス）
報告者：パナソニックホールディングス株式会社
ペロブスカイトPV事業推進室 内田 隆介 様

【第二部】

ペロブスカイトを地域の成長エンジンに

事例紹介：「愛知県における
カーボンニュートラル施策について」
報告者：愛知県環境局 地球温暖化対策課 担当課長 松尾 繁展 様

【パネルディスカッション】

演題：「発電する街・にいがた」
ー私たちの暮らしと課題を、希望に変えるにはー
パネリスト：新潟スワンエナジー株式会社 代表取締役 島村 隆宏 様
株式会社北村製作所 商品企画部 部長 米本 英喜 様
新潟市 環境部 部長 小泉 英康 様
農事組合法人濁川生産組合 代表理事 田村 雄太郎 様
東京大学先端科学技術研究センター 教授 瀬川 浩司 様
コーディネーター：新潟日報社 編集局 ニュースセンター 横井 裕 氏

- ◇ペロブスカイト太陽電池へ情報収集や施設への設置導入への期待
- ◇技術とヨウ素など新潟の地域資源の可能性、企業や自治体の取組への理解

シンポジウム

発電する街にいがた

入場無料
(要事前申込)
定員150人

資源も、電気も、地産地消へ。
ペロブスカイト太陽電池と新潟産ヨウ素が描く未来——

脱炭素社会への移行が進む、再生可能エネルギーはコストや義務という面だけでなく、地域産業を飛躍させる可能性を秘めた“チャンス”でもあります。本シンポジウムでは、次世代太陽電池「ペロブスカイト」と新潟産ヨウ素の融合により、地産地消のエネルギーと新たな産業創出を目指す新潟の未来像を描きます。

2026年1月21日(水) 13:30～16:50
受付開始13:00
新潟日報 メディアシップ2階 日報ホール
新潟市中央区万代3-1-1

ペロブスカイト太陽電池とは…再生可能エネルギーの柱として期待される日本橋の次世代技術。フィルムのように「薄く、軽く、曲がる」特長があり、薄く・軽量として従来の重いシリコンパネルでは設置が難しかった建物の外壁や、屋根裏の少ない壁面、窓ガラスなどにも設置できる。また、原料のヨウ素は、日本が世界シェア第2位の産出国で、新潟県は干預前に生産量を誇る。

新潟日報社 代表取締役 島村 隆宏 氏
株式会社北村製作所 商品企画部 部長 米本 英喜 氏
新潟市 環境部 部長 小泉 英康 氏
農事組合法人濁川生産組合 代表理事 田村 雄太郎 氏
東京大学先端科学技術研究センター 教授 瀬川 浩司 氏

第1部 ペロブスカイトの現在地と未来

基調講演
ペロブスカイト
太陽電池が拓く未来
～技術開発と用途展開の現状と展望～

東京大学先端科学技術研究センター
教授 瀬川 浩司 氏



企業報告 素材
新潟の資源が、未来を創る

三菱ガス化学株式会社 エネルギー資源・環境事業部
事業部長 高橋 昭浩 氏

企業報告 製品
技術を、カタチにする

パナソニックホールディングス
ペロブスカイトPV事業推進室 内田 隆介 氏

第2部 ペロブスカイトを地域の成長エンジンに

事例紹介
愛知県におけるカーボンニュートラル施策について

愛知県環境局 地球温暖化対策課
担当課長 松尾 繁展 氏

パネルディスカッション

『発電する街・にいがた』
ー私たちの暮らしと課題を、希望に変えるにはー
新潟スワンエナジー株式会社 代表取締役 島村 隆宏 氏
株式会社北村製作所 商品企画部 部長 米本 英喜 氏
新潟市 環境部 部長 小泉 英康 氏
農事組合法人濁川生産組合 代表理事 田村 雄太郎 氏
東京大学先端科学技術研究センター 教授 瀬川 浩司 氏

コーディネーター
新潟日報社 編集局
ニュースセンター
横井 裕

司会
フリーアナウンサー
渡邊 智世 氏

申し込み方法
参加ご希望の方は、右記QRの申し込みフォームに必要事項を記入・送信してください。参加いただける方には後日参加案内のメールをお送りします。



※お申し込みの際の個人情報は、当事業の運営にのみ使用いたします。

主催／新潟市、新潟日報社 ◎共催／新潟地域脱炭素社会推進パートナーシップ会議 ◎後援／環境省関東地方環境事務所、有機系太陽電池技術研究会（RATO）

お問い合わせ 新潟日報社 総合プロデュース室内「発電する街」事務局 新潟市中央区万代3-1-1
TEL: 025-385-7473（土日夜を除く10:00～17:00） E-mail: sopro@nigata-nippo.co.jp

2. 0円太陽光事業の効果(チラシ作成および配布、宣伝)

0円で始める太陽光発電のご案内

再エネ100宣言
RE Action

環境だけじゃない。
地域の未来のための選択。

屋根から始める、環境に優しい暮らし

はじめませんか、環境に優しい太陽光発電。

設置0円
管理も不要

非常用電源
に使える

電気代も
お得に

契約終了後は
無償譲渡

新潟市長
中原 八一

太陽光発電の導入を考えてみませんか
新潟市はゼロカーボンシティの実現を目指し、エネルギーの地産地消を推進しています。太陽光発電設備の設置により、カーボンフリーの電気を使用できるほか、非常用電源としても活用でき、電気代もお得になります。皆さんも導入を検討してみませんか。

新潟地域脱炭素社会推進パートナーシップ会議のご紹介
新潟市地球温暖化対策実行計画（地域推進版）に掲げる連携・協働プロジェクトです。地域事業者主体による自立分散型再生可能エネルギー大量導入の仕組みづくりを目指し、地域関係者間による情報共有・協議等を目的に、新潟市と新潟市地球温暖化対策地域推進協議会が主催しました。
詳細は「新潟地域脱炭素社会パートナーシップ会議」WEBで。



新潟市の自立分散型再生可能エネルギー大量導入の仕組みづくりを目指しています。
新潟地域脱炭素社会推進パートナーシップ会議

いいこといっぱい「0円ソーラー」

省エネだから、環境に優しいから。
太陽光発電のメリットはそれだけではありません。
災害時の非常用電源としての活用など、地域の未来のためにも重要な役割が期待されています。
設置費用などがかからず、維持管理も必要のない「0円ソーラー」あなたも始めてみませんか。

0円で設置！契約期間中の維持管理は手間いらず！

事業者が初期費用を負担するので、建物所有者は0円で太陽光発電設備が設置可能です。
また、契約期間中の維持管理については事業者が行うため、手間がかかりません。

契約期間後、太陽光発電設備はあなたのもの！

事業者が初期費用を回収後（概ね10～20年後）は、設備が所有者に無償譲渡されます。

電気代が安くなる！

発電した電気の使用には「再生可能エネルギー発電促進賦課金（再エネ賦課金）」がかかるため、電気代が安くなります。
※「再エネ賦課金」とは、太陽光や風力などの再生可能エネルギーの導入を促進するために、電気の利用者が使用量に応じて電気料金の一部として支払っているものです。

非常用電源としても使える！

地震や台風などの自然災害により停電が起きた場合でも昼間の電気が確保できます。
※夜間の利用には別途、蓄電池が必要になります。

各種省エネ補助金も活用可能！

設置にあたって、各種補助金制度の活用が可能です。
（詳細は下記相談窓口：一般社団法人環境省エネ推進研究所へご相談ください）

「0円ソーラー」導入のご相談は地元の事業者へ。

新潟における「0円ソーラー」設置プランは以下の通りです。詳細につきましては、各事業者へお問い合わせください。

No	事業者名（所在地）	住 所	問合せ先	契約種別※1	対象施設※2
1	越後天然ガス 株式会社	新潟市秋葉区	0250-24-2171	低圧・高圧	住宅・商店
2	株式会社 千代田エネルギー	新潟市中央区	025-284-1210	高圧	工場・事業所
3	株式会社 テクノナガイ	新潟市北区	025-287-3117	高圧	工場・事業所
4	新潟スワンエナジー 株式会社	新潟市中央区	025-247-6860	高圧	公共施設 工場・事業所
5	株式会社 ハヤマ	新潟市中央区	025-223-6561	高圧	工場・事業所
6	株式会社 パルコミュニケーションズ 株式会社 Loop	新潟市東区	025-286-1225	低圧	住宅・商店

※1 契約種別は電力会社と契約中の電圧の種類です。
「低圧」… 一般家庭や商店など100Vか200Vの供給を受けているお客様が対象です。
「高圧」… 6000V以上で受電し発電設備（キュービクル）がある工場・事業所等が対象です。

※2 設置条件について詳しくは各事業者にお問い合わせください。

新潟地域脱炭素経営支援プラットフォーム

【相談窓口】一般社団法人 環境省エネ推進研究所 〒950-2035 新潟市西区新潟451番地 TEL (025) 263-0100
【WEB】 <http://eecp.or.jp> 【E-mail】 info@eecp.or.jp

2. 0円太陽光事業の効果：会員企業によるPPA事業の実施状況

事業者名（50音順）	導入状況
越後天然ガス株式会社	県内0件
株式会社千代田エネルギー	県内民間企業6件、市内民間企業1件 （計7件）
株式会社テクノガイソラーレ	県内民間企業1件、市内自治体1件 （計2件）
新潟スワンエナジー株式会社	県内0件
株式会社ハヤマ	県内自治体1件、市内民間企業1件、 市内自治体3件（計5件）
株式会社パルコミュニケーションズ 株式会社Loop	県内0件

調査期間令和7年4月～令和8年3月

2. 0円太陽光事業の効果(1)民間施設



マルタスギヨ株式会社



事業者	マルタスギヨ株式会社 株式会社テクノガイ
事業実施場所	新潟県阿賀野市大室字山道660番地3
施設名称	マルタスギヨ株式会社 阿賀野センター
太陽光発電の導入方法	PPA（第三者所有）
太陽光発電出力	DC：148.00kW（パネル出力） AC：100.00kW（パワコン出力）
運転開始	令和3年5月
CO2削減効果（見込み） （t-CO2/年）	75.78 t-CO2/年

2. 0円太陽光事業の効果(2)公共施設



新潟スワンエナジー株式会社
Niigata Swan Energy Corporation



事業者	新潟市 新潟スワンエナジー株式会社
事業実施場所	新潟県新潟市江南区茗荷谷711番地
施設名称	新潟市中央卸売市場
太陽光発電の導入方法	PPA（第三者所有）
太陽光発電出力	DC：280.00kW（パネル出力） AC：247.50kW（パワコン出力）
運転開始	令和3年3月
CO2削減効果（見込み） （t-CO2/年）	145.88t-CO2/年

3. ビジネスマッチング① V2H モデルハウス

憧れを、かたちに。



三井ホーム

三井ホーム北新越株式会社



- ・ R2年度 PS会議にてEV普及には V2Hが見学・体験できる施設が必要不可欠との意見があった。
- ・ 市内住宅展示場にてV2Hの体験イベントを実施できる環境が整った。



3. ビジネスマッチング② EVチャージャーの追加導入



8kW EVチャージャー

- ・ポルシェジャパンは独自充電ネットワークを構築中。
目的地型充電ステーション
「ポルシェデスティネーションチャージングステーション」



2021.10.7 報道関係者向けお披露目会 (令和3年)

松之山温泉で人も車も充電できる。再エネ100%のEV充電設備。



3. ビジネスマッチング③ EVカーシェアリング



新潟エンパワーメント株式会社

令和5年1月のステーション開設



住所	新潟県新潟市中央区花園1丁目4-6
アクセス	「JR新潟駅北口」を出て右折、「日本こども福祉専門学校」手前を右折し左側
車両	日産サクラ
料金	330円/15分～

3. ビジネスマッチング④ ソーラーシェアリング



- ・ 令和4年FIT認定取得
- ・ シャインマスカットによる営農型太陽光発電にチャレンジ



3. ビジネスマッチング⑤ 環境エネルギーアライアンス

新潟市と民間業者の連携により設立された地域新電力会社が、新潟市内の施工会社および調査会社と業務提携を行うことでPPA事業を展開することができた。

地元企業による「オールにいがた」でのアライアンス

【PPA事業者】



新潟スワンエナジー株式会社
Niigata Swan Energy Corporation

【業務支援】



株式会社イーエムエス

【施工会社】



テクノナガイソーレ
TECHNONAGAI SOLARE



communications



3. ビジネスマッチング⑥ EV充電サービスの導入

- ・ R4年度のPS会議にて「EVの普及にはEV充電インフラの整備が必要」であるとの意見が多数挙がり、R5年度第1回PS会議に最大手のENECHANGE株式会社からご講演いただいた。
- ・ 会議に参加した新発田市、燕市は他社との比較検討の上、ENECHANGEにを選定し、令和6年度に導入することとなった。



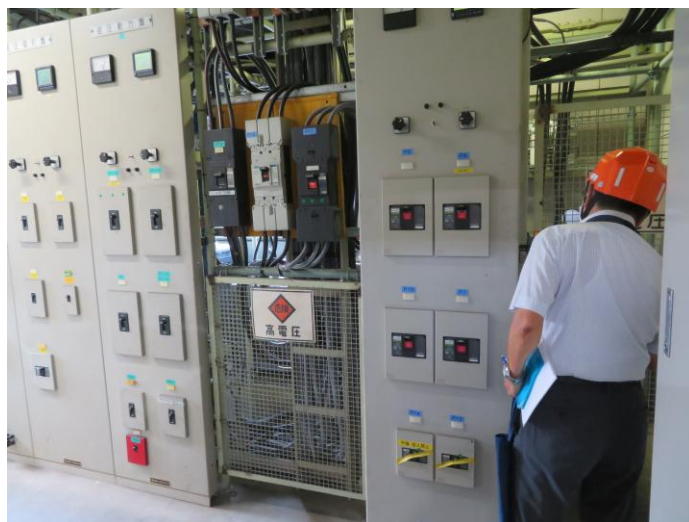
6kW EVチャージャー



3. ビジネスマッチング⑦ 診断事業・コンサルティング事業

- ・新潟産業創造機構（NICO）や金融機関および一般事業者から受けた省エネの相談に対し、省エネルギー診断の専門家を派遣し省エネ診断や省エネの相談を実施した。

支援内容	件数	相談者	連携者(マッチング事業者)
省エネ診断	1件	新潟産業創造機構(NICO)	株式会社イーエムエス
	6件	一般事業者	一般社団法人環境省エネ推進研究所
脱炭素化の取組相談	0件	※令和7年度専門家派遣事業での脱炭素化取組窓口はなくなったため実績なし	
補助金申請支援	1件	一般事業者	株式会社イーエムエス



4. 成果のとりまとめ

R2～R7年度に開催した本会議により得られた効果

- ・0円太陽光事業の効果PPA事業による再エネの普及促進
- ・ビジネスマッチング

「脱炭素ドミノ」を起こし、地域の経済循環へ

